

2024年6月26日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行  
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が足踏み、観光関連、投資関連、雇用情勢は横ばいとなっている。一方、畜産関連が弱含み、生産活動が低調となっている。足元では、物価上昇の影響がみられるなど、全体として回復の勢いがやや鈍化しつつある。

生産活動は、3月の鉱工業生産指数が21か月ぶりに前年を上回った。電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回ったが、食料品、窯業・土石製品は前年を上回った。

畜産関連では、5月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場も前年を下回った。一方、豚肉は前年を上回った。

個人消費関連は、4月の乗用車新車登録台数、5月の軽自動車届出台数は前年を下回った。一方で、4月のドラッグストア販売額は前年を上回り、4月の家電大型専門店販売額は前年をやや下回り、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を下回った。

観光関連では、5月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を下回ったものの、前年宿泊療養施設だった先を含めると、4か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は5か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は3か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を下回ったものの、民間建築工事費予定額、住宅着工戸数は前年を上回った。

雇用情勢は、4月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.21倍となった。

## 【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

4月の焼酎生産は、2か月連続で前年を上回り、出荷量は3か月連続で前年を下回った。

3月のかつお節生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

5月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが9か月ぶりに前年を下回り、民間工事向けは8か月連続で前年を下回り、全体では4か月連続で前年を下回った。

5月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

## 【畜産関連】... 弱含み

5月の子牛の出荷頭数、価格ともに前年を下回った。5月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が3.6%減で3か月連続で前年を下回り、去勢A4が5.1%減で3か月連続で前年を下回った。4月の枝肉生産量は前年を上回った。

5月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は11.0%増と2か月連続で前年を上回った。4月の枝肉生産量は前年を上回った。

5月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は18.3%減と9か月連続で前年を下回り、むね肉は12.0%減と7か月連続で前年を下回った。4月の処理羽数は前年を上回った。

5月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は41.7%減と7か月連続で前年を下回った。3月の配合飼料価格は9か月連続で前年を下回った。

## 【消費関連】... 足踏み

4月の百貨店・スーパー販売額は、飲食料品がほぼ前年並みで、衣料品は前年を下回り、全体ではほぼ前年並みだった。

4月の専門量販店販売額は、ドラッグストアは前年を上回ったが、家電大型専門店はやや前年を下回り、コンビニエンスストアは前年を下回った。

4月の乗用車新車登録台数は、4か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は4.7%増、小型車が27.7%減となった。

5月の軽自動車届出台数は6か月連続で前年を下回った。一部メーカーの認証不正による出荷停止の影響があった。

## 【観光関連】... 横ばい

5月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を下回った。関西、関東、九州などからの入り込みや個人客が減少した。ただし、前年鹿児島地区の宿泊療養施設だった先を含めると、4か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区は、関西、関東、九州などからの入り込みや個人客が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。ただし、前年宿泊療養施設だった先を含めると、4か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州などからの入り込みや個人客が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

指宿地区は、関西、関東などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

種子島・屋久島地区は5か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は3か月連続で前年を下回った。

5月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

## 【投資関連】... 横ばい

5月の公共工事は、件数は前年をやや上回り、請負金額は前年を下回った。

4月の民間建築工事着工は、棟数は前年を下回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

4月の新設住宅着工戸数は、持家が前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を上回り、3.7%増となった。

4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、6か月ぶりに前年を下回った。

## 【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

4月の輸出額は、食料品及び動物が前年を下回ったものの、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回り、全体では27.3%増と7か月連続で前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回り、全体で25.2%増と3か月連続で前年を上回った。

**【雇用情勢】... 横ばい**

4月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.21倍となった。県内求人数を業種別にみると、建設業は前年を下回り、製造業、卸小売、医療・福祉は前年を上回った。

**【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った**

4月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.7%上回った。

**【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った**

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（7件）を4か月連続で下回った。また、負債総額は5億39百万円で前年同月（3億42百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)